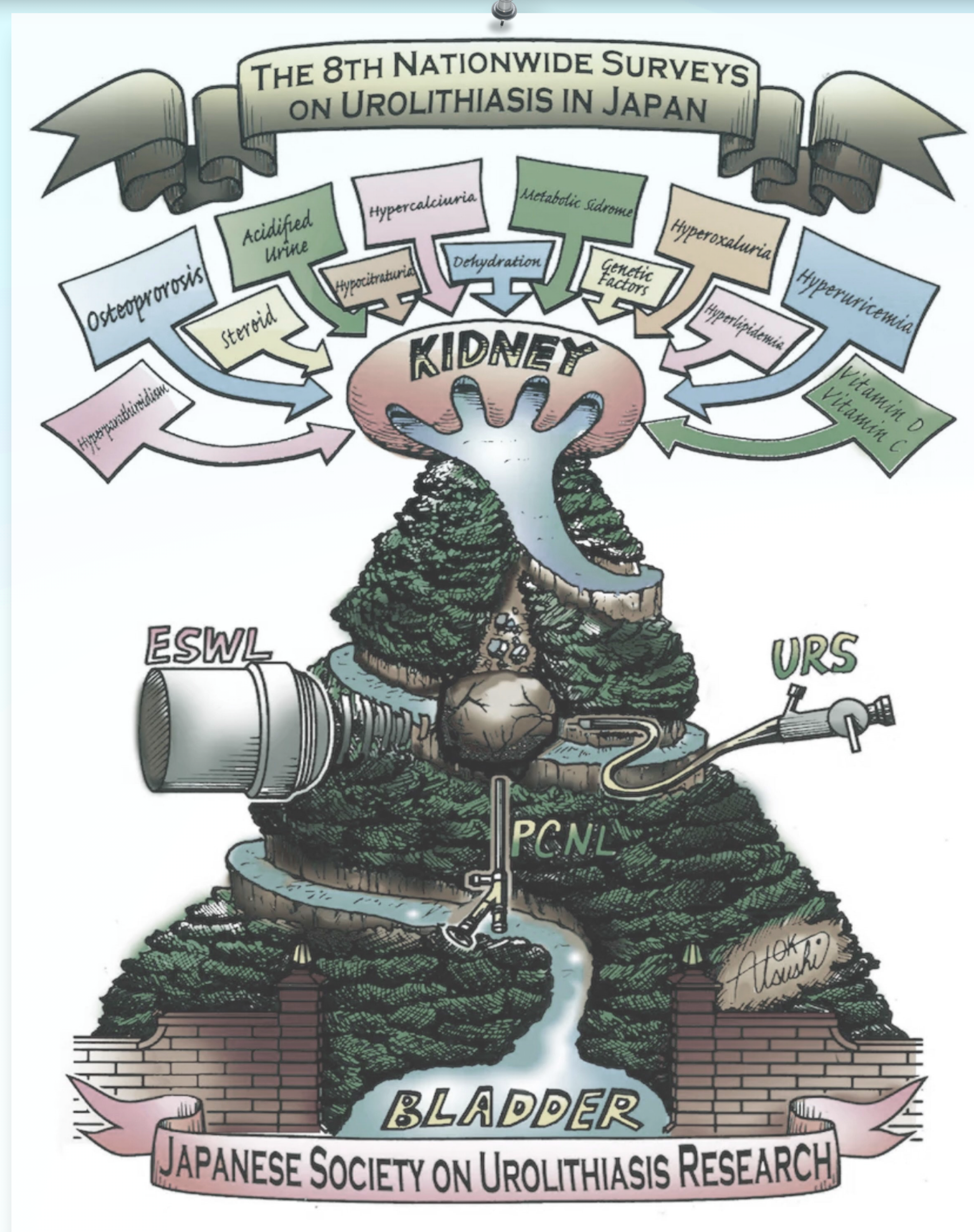


第8回尿路結石症全国疫学調査 参加施設募集

わが国の尿路結石症の全国疫学調査は、1955年から10年毎に京都大学泌尿器科学を中心として行われてきました。2005年の第6回調査より日本尿路結石症学会が引き継ぎ施行しております。

これまで70年に渡り全国の諸先生方のご協力によって支えられた世界的にも類を見ない本調査の成果は高く評価され、尿路結石の診療と行政に活用されています。前回の調査から10年目にあたる2025年の第8回調査へのご協力をよろしくお願ひ申し上げます。（日本尿路結石症学会 理事長 宮澤克人）



第8回尿路結石症全国疫学調査事務局
〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1
金沢医科大学 泌尿器科学教室（担当：井口太郎）
TEL: 076-218-8145 FAX: 076-286-5516
E-mail: 2025stone@gmail.com



日本尿路結石症学会

Japanese Society on Urolithiasis Research

過去の尿路結石症全国疫学調査の成果

第1回調査（1955年）

1. 稲田務: 本邦尿路結石症の統計的観察. 泌尿紀要 1955, 1(3):143-152
2. Inada T: Statistical Study on Urolithiasis in Japan. Urol Int 1958, 7(1-3):150-165.

第2回調査（1966年）

3. 稲田務: 尿石症の研究. 日泌尿会誌 1966, 57(9):917-929.

第3回調査（1979年）

4. 吉田修: 日本における尿路結石症の疫学. 日泌尿会誌 1979, 70:975-983.

第4回調査（1990年）

5. Yoshida O: Epidemiology of urolithiasis in Japan: a chronological and geographical study. Urol Int 1990, 45(2):104-111.

第5回調査（1995年）

6. Yoshida O: National trend of the incidence of urolithiasis in Japan from 1965 to 1995. Kidney Int 1999, 56(5):1899-1904
7. Terai A: Changes in the incidence of lower urinary tract stones in japan from 1965 to 1995. Int J Urol 2000, 7(12):452-456.

第6回調査（2005年）

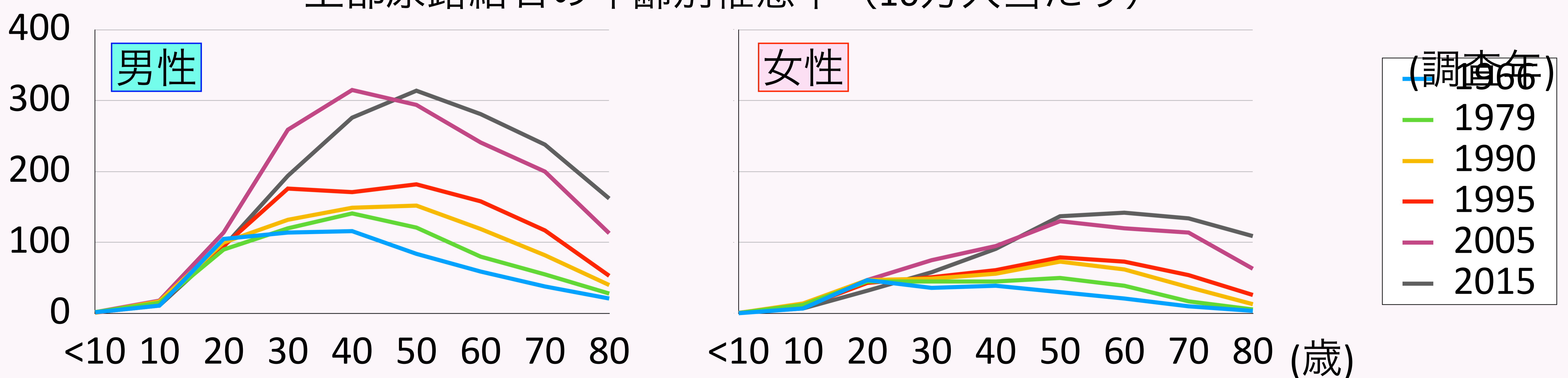
8. Yasui T: Prevalence and epidemiological characteristics of urolithiasis in Japan: national trends between 1965 and 2005. Urology 2008, 71(2):209-213.
9. Yasui T: Prevalence and epidemiologic characteristics of lower urinary tract stones in Japan. Urology 2008, 72(5):1001-1005.
10. Kohjimoto Y: Association of metabolic syndrome traits and severity of kidney stones: results from a nationwide survey on urolithiasis in Japan. Am J Kidney Dis 2013, 61(6):923-929. (自主研究)

第7回調査（2015年）

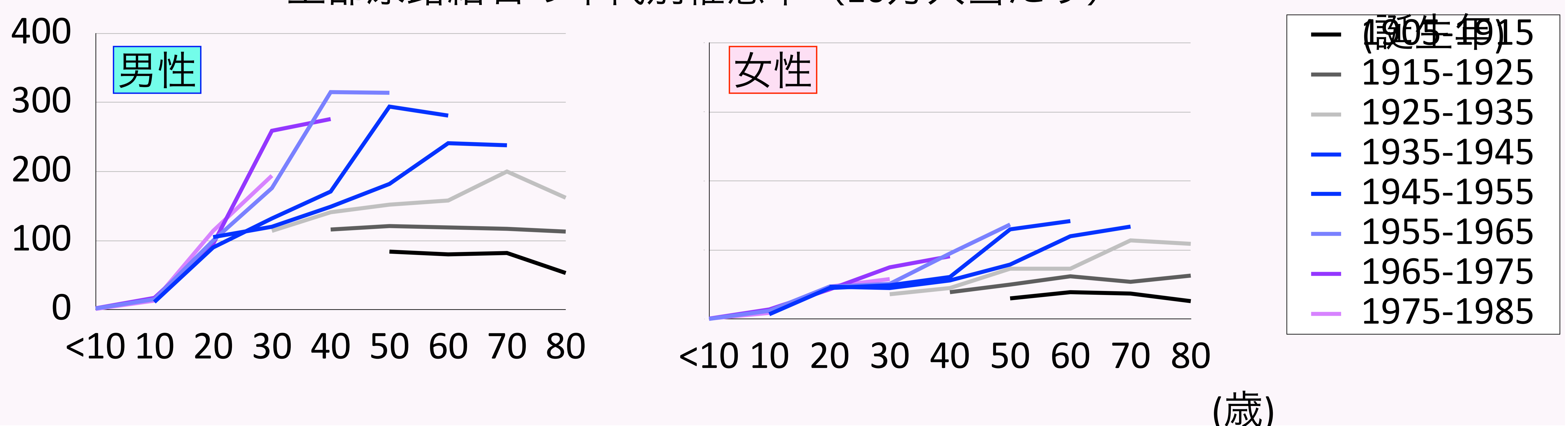
11. Sakamoto S: Chronological changes in the epidemiological characteristics of upper urinary tract urolithiasis in Japan. Int J Urol 2018, 25(4):373-378.
12. Sakamoto S: Chronological changes in epidemiological characteristics of lower urinary tract urolithiasis in Japan. Int J Urol 2019, 26(1):96-101.

最近の尿路結石罹患率の動向 (文献11より作図)

上部尿路結石の年齢別罹患率 (10万人当たり)



上部尿路結石の年代別罹患率 (10万人当たり)



第8回尿路結石症全国疫学調査

調査期間：2025年1月1日～2025年12月31日

調査対象：上記期間に尿路結石が存在する患者

調査施設：JUA教育認定施設もしくはESWL実施施設

研究内容：① 症例数調査（後向き観察研究）

② 個別調査データ（前向き観察研究）

（①，②のいずれか一方もしくは両方の研究に参加可能です。）

① 症例数調査（後向き観察研究）

【収集データ】初発/再発，上部/下部尿路，性別，年代別の症例数

- 調査年度終了後（2026年2月まで）に収集データを報告（電子入力）

- 倫理委員会への申請：不要

- 病院への届け出：必要

- オプトアウト（HPでの記載，院内での掲示）：必要

② 個別調査データ（前向き観察研究）

【収集データ】患者情報，診断法，既往/併存疾患，治療法，結石成分

- 調査年度終了後（2026年3月まで）に収集データを報告（電子入力）

- 倫理委員会への申請：[中央一括審査*](#)

- 病院への届け出：必要

- 患者同意：必要（収集データ用患者アンケートに説明/同意書付き）

（*[各施設での倫理委員会への申請は必要ありません。](#)日本尿路結石症学会が中央一括審査として申請を行うため，参加施設は事前に研究者リスト，要件確認書，研究責任者の履歴書を提出していただきます。）

参加締め切り

①症例数調査：2024年9月15日まで

②個別調査：2023年11月15日まで（倫理委員会申請のため）

全国疫学調査への参加の回答を 以下のQRコード/URLからお願いします



<https://jp.surveymonkey.com/r/GY7XB96>

(スマートフォンのカメラでQRコードを写すと回答用ページに移動します。所要時間：2分)

(上記のQRコード/URLから回答できない場合のみ、以下のFAXで回答して下さい)

FAX返信用 (FAX: 076-286-5516)

返信先：第8回尿路結石症全国疫学調査事務局 (担当：井口太郎)

第8回尿路結石症全国疫学調査

① 症例数調査 (後向き観察研究) に

参加する・参加しない

② 個別調査データ (前向き観察研究)

参加する・参加しない

病院名： _____ (都道府県： _____)

担当者氏名： _____

連絡用E-mail： _____

連絡用電話番号 _____